産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 山口 泰祐

- I 開催年月日 令和 2 年 11 月 17 日 (火)
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 23 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎山口 泰祐 ○藪中 一夫 角田 悠紀
石須 大雄 吉田健太郎 坂林 永喜
大井 正樹 高畠 義一
(金森 一郎委員は公務のため欠席)
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 西本 幸夫 松本 武司 六土 幸拓
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

[都市創造部]

- (1)旧防災センターの土地売却に係る公募型プロポーザルについて
- (2)高岡市道路除雪実施計画(概要)について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示)

【旧防災センターの土地売却に係る公募型プロポーザルについて】

- 令和 3 年 1 月下旬に選考委員会による審査を行うとのことだが、どのような基準で行うのか。また、選考メンバーは。
- △ 応募者のスキル、スケジュールを含めた事業の計画及び価格等の提案内容を審査する。審査員は、都市創造部と総務部で構成することを予定している。
- 建物付き土地を取得し、建物を活用する区分 A と建物を解体等して土地を活用する区分 B で比較すると、区分 A の方が価格が高くなるため、選ばれやすくなると邪

推したが、しっかりと基準を持って、選考にあたっていただきたい。(要望)

【高岡市道路除雪実施計画（概要）について】

- 今年の降雪の予想とその対応は。
- △ 本年度の降雪予測について、気象庁の発表では、平年並みよりやや多いと予測している。また、気象情報等では、今年度はラニーニャ現象によって、平年より少し多い降雪を想定している。
- 除排雪機械配備計画では、歩道や車道の除雪機械の合計台数が前年度比でマイナスになっているが、除雪の要望が多く出てくる中で、台数を減らして対応できるのか。
- △ 担当する地区の業者と十分協議し、新たな割り振りをすることで問題ないと考えている。
- 小型除排雪機を地域の住民に貸与し、住民の自主的な管理、運営を図る地域ぐるみ除排雪の推進について、小型除雪機の新たな貸与がないが、除雪オペレータ数に増減はないのか。
- △ 市内各地区の地域ぐるみ除排雪推進協議会から提出された名簿では、高齢の方が残っている状況であることから、現在、除雪オペレータを精査している段階である。
- 地域ぐるみ除排雪については、今年から、除雪機の操作に不慣れな方に練習する機会を設けることなど、地域の中でも自主的な管理、運営の考えの方が増えてきたと感じている。今後も地域住民と協力して、市内の道路の交通確保に努めていただきたい。(要望)
- 除雪実施計画にある出動基準は、「新降雪深が10cmを超え、気象情報等からさらに降雪が予想されるとき」とされているが、どこで新降雪深を計測するのか。また、地域によってはその基準に捉われず、早めに出動する必要もあると考えるが、見解は。
- △ 市内の12ある各企業体に加え、市で行うパトロールの状況を踏まえ、計測場所を決めている。例えば校区単位で10cmを超えていれば出動することもある。いろいろな箇所にポイントは設けている。
- 雪が降れば必ず議員に問い合わせが殺到する。地域ごとに早めの対応をお願いしたい。(要望)

2 その他

〈 委員から、次の質疑があった。 〉

【日本海高岡なべまつりについて】

- 御旅屋セリオ前一带で開催するとのことだが、何種類の鍋を用意するのか。また、これまでで最長の4日間の開催期間で、合計1,200食を提供するとのことだが、昨年と比較し、規模に変化はあるのか。
- △ 今年度は、里芋汁、海鮮シチュー鍋の2種類の提供を予定しており、昨年度の21

種類で約3万食の提供実績と比較すると約4%程度になる。

- ふるまい鍋以外に予定しているイベントはあるのか。
- △ 現在、地元や関係団体等と調整を進めているところである。
- 中心市街地のセールと連携し、開催するとのことだが、具体的な内容は。
- △ 今回のイベントは、地元の商店街協議会が実施するガラポン抽選会と合わせて開催することとしており、具体的には、中心商店街の対象店舗において、買い物や飲食をされた方に3,000円ごとに抽選券を1枚配布しており、御旅屋セリオ前で開催のガラポン抽選会に参加いただいた方に鍋一杯を振る舞う形での連携をとりたい。
- ガラポン抽選会の参加者のみに鍋が振る舞われる認識で良いか。そうならば、鍋だけを食へに行くことはできないということか。
- △ 意見のとおり、対象店舗で3,000円分をご購入の方に抽選券をお渡しし、その抽選券を持ってガラポン抽選会に参加された方になべを振る舞う形式である。
- なべまつりは高岡の冬の風物詩とも言われており、このイベントを楽しみにしている市民もいるため、今年度の開催内容が大きく変わることを、正確に、広く周知しなければいけないと思うが、対応は。
- △ 12月号の「市民と市政」でのお知らせ、また、ケーブルテレビの広報番組で放映し、市民の方々への広報を図っていきたい。
- 例年の開催形式等を踏まえると、なべのチケット販売があると認識している方が圧倒的に多いと思う。商店街で買い物をしていただくことは大事なことだが、例年と異なる開催形式であることをしっかり広報しておかないと、勘違いや、トラブルにもつながるため、十分注意していただきたい。
- △ ご指摘の点をしっかりと受けとめ、市民の方々に誤解のないよう、しっかりお伝えしていききたい。また、今回の開催は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に加え、冬場の食べ物を扱うという点から、関係団体とも十分に協議し、細心の注意を払いながら、実施したい。

【経済産業省が進めているG o T o 商店街への本市の対応について】

- 市内で国に申請している商店街はどの程度あるのか。
- △ 関係各所に確認したところ、令和2年11月17日現在で7つの団体が申請済み、または申請予定と聞いている。
- 経済産業省からの採択が得られれば、どのような行事やイベントが市内で計画されるのか。
- △ 内容は様々であり、店舗情報を紹介する冊子やホームページを作成する団体、マルシェなどの物産販売を行う団体、その他、ライトアップを行う企画があると聞いている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉